

## 1. 学校のトピックス

- 1.1 学生活動
- 1.2 教育・研究活動
- 1.3 産学連携・地域連携
- 1.4 国際交流
- 1.5 その他



## 1. 学校のトピックス

### 1.1 学生活動

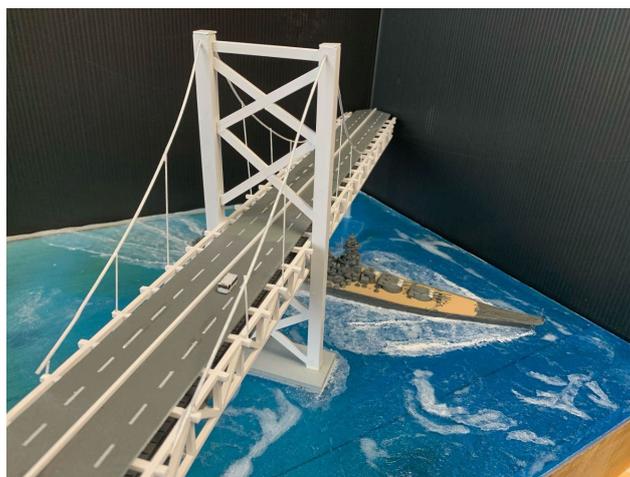
#### 1.1.1 美術部がハイスクール国際ジオラマグランプリ2022にて審査員賞を受賞しました

3月25日から3月27日に静岡県浜松市にて行われた第9回ハイスクール国際ジオラマグランプリ2022 (HiD2022) に、本校高松キャンパス美術部が「700分の1瀬戸大橋と大和」のタイトルでジオラマ作品を出展し、審査員 浜松美術館 館長賞を受賞し、2年連続の審査員受賞となりました。

詳細は下記Webサイトをご覧ください。

第9回ハイスクール国際ジオラマグランプリ結果

<https://hid-gp.wixsite.com/hid-club-house/result>



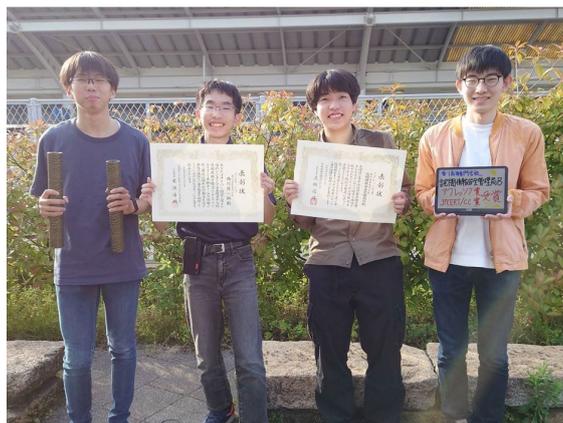
700分の1瀬戸大橋と大和

#### 1.1.2 第17回情報危機管理コンテストで情報セキュリティ研究会のチームが賞を受賞しました

2022年5月27日に開催された、サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム実行委員会主催の第17回情報危機管理コンテスト決勝戦において、最優秀であった個人に対し贈られるJPCERT/CC賞を本校専攻科電子情報通信工学専攻1年の西川優一郎さんが受賞したほか、本校詫間キャンパスの詫間情報安全管理局Bチームに対し“アグレッシブ賞”が授与されました。

記事の全文は以下リンクよりご覧いただけます。

<https://takuma-isec.org/cmc17-final>



### 1.1.3 第57回全国高等専門学校体育大会柔道競技に出場・入賞しました

令和4年8月27日(土)、28日(日)高松市総合体育館において、令和4年度第57回全国高等専門学校体育大会柔道競技が開催され、男子団体戦、個人戦各階級に出場しました。

団体戦予選リーグ戦(1勝1敗、2位)

香川高専高松3-1長岡

香川高専高松1-2 松江

団体戦は昨年度の3位以上の成績を狙っていましたが、惜しくも僅差で敗戦し、予選リーグ2位で敗退しました。男子個人戦では66kg級に出場した2年機械工学科の和田 知晃選手が一本、優勢で準決勝まで勝ち上がり、準決勝では接戦で延長戦の末、惜しくも敗退し、3位に入賞しました。地元開催で保護者等やOBの皆様が多数応援に駆けつけていただきました。選手に対する盛大な応援、大変ありがとうございました。

本年度の大会は主管校として、競技の計画から準備、運営に関しましては、香川県柔道連盟、英明高校柔道部をはじめ、本校教職員、野球部、写真部など、多くの協力を得て、感染拡大もなく無事に開催することができました。大変感謝申し上げます。

なお、本大会の詳細な報告は、講道館発刊の月刊誌「柔道」11月号にて掲載予定です。

写真撮影：写真部 山本 愛生



準決勝の熱戦



66kg級3位入賞 和田選手

### 1.1.4 バasketボール部（男子）が全国高専大会で優勝しました

令和4年8月27日（土）・28日（日）にかけて、愛媛県総合運動公園体育館で開催された第57回全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技において、高松キャンパスバスケットボール部（男子）が優勝しました。旧高松高専時代を含めると、優勝は昭和58年以来の39年ぶりで、通算6回になります。

予選リーグの初戦では、仙台高専名取キャンパスと対戦して勝利（○80-63）し、続く2戦目の苫小牧高専にも勝利（○70-49）し、グループ1位で通過しました。

決勝トーナメントの準決勝では、松江高専と対戦し、第4クォーターで追い上げられるも僅差で勝利（○60-52）しました。決勝は、昨年度優勝校である長岡高専と対戦し、終始リードを保ったまま勝利（○82-67）することができました。

コロナ禍で観客数が制限された中での大会でしたが、多数の保護者等の皆様に応援に来ていただきました。部員・顧問一同この場を借りて御礼申し上げます。



表彰式の様子



大会終了後の集合写真  
(撮影時のみマスクを外しています)

### 1.1.5 第57回全国高等専門学校体育大会剣道競技で女子個人戦3位入賞しました

令和4年8月25日（木）、26日（金）にとくぎんトモニアリーナにおいて、令和4年度第57回全国高等専門学校体育大会剣道競技が開催され、本校電気情報工学科1年の黒川歩未さんが、女子個人戦で3位に輝きました。

女子個人の部：第3位 電気情報工学科1年 黒川 歩未 四国地区大会でも優勝に導いた、面を中心とした積極的な攻撃で、準々決勝まで勝ち上がりました。

新型コロナウイルス感染拡大のある中、担当校の阿南高専の様々な競技運営における配慮のおかげで、無事に開催いただきました。感謝申し上げます。



### 1.1.6 次世代自動車研究部が白浜 ECO-CAR チャレンジ 2022 に参加しました

令和4年9月23日(金)及び24日(土)の2日間、次世代自動車研究部の部員16名が、和歌山県白浜町の旧南紀白浜空港滑走路特設コースで開催された白浜 ECO-CAR チャレンジ 2022 に参加しました。

初日は、台風の影響で中止になり、2日目に5時間耐久レースが行われる日程に急遽変更になりました。2日目は、快晴ながら台風の吹き返しによる強風があり、途中タイヤカバーが飛ばされるトラブルに見舞われましたが、ピット員で修復し、レースは続行できました。5時間の長丁場のレースで、最後は、バッテリー切れで止まってしまいましたが、ソーラーパネルで充電して走行できるようになり、最後はチェッカーフラッグを受けることができました。結果は、周回数42周で11位(14台中、ビギナークラス3位)の成績で終わりました。

大会中は、多数のOBの方に応援に現地まで来て頂きました。部員一同、御礼申し上げます。



レース後の集合写真とトロフィー

### 1.1.7 女子学生向け交流会（集まれJKの森inマルタス）を実施しました

10月2日（日）丸亀市市民交流活動センターマルタスにて女子学生向け交流会（集まれJKの森inマルタス）を実施しました。

交流会では、キャンパス・学年を超えた交友、自分たちの進路（キャリア）について考える、高専女子の活動に挑戦してもらうことを目的として、両キャンパス併せて23名の女子学生が参加しました。会では、OG2名による在学中及び卒業後のキャリアに関する講演、アクセサリー作り、丸亀城石垣復旧現場の視察、パンフレット（ガールズノート）の企画立案などが行われました。終始和やかな雰囲気女子学生同士の交流が行われ、女子技術者としての将来像を思い描くうえで、有意義な時間となりました。



OGによる講演会



丸亀城石垣復旧現場の視察

### 1.1.8 ROBOCON 2022 四国地区大会高松キャンパス結果報告

10月9日(日)に新居浜工業高等専門学校でアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2022四国地区大会が開催されました。競技テーマは、「ミラクル☆フライ～空へ舞いあがれ～」, ロボットが紙飛行機を飛ばして様々なオブジェクトに乗せて点数を競います。高松キャンパスからは、Aチーム「とびうお」と、Bチーム「CONTRAIL (コントレイル)」の2チームが出場しました。

Aチームは、決勝ラウンドに進出し、他に類を見ない独創的なアイデアを実現させたとして「アイデア賞」を受賞。Bチームは、予選リーグ・決勝トーナメントで勝利を続け優勝し、全国大会出場へのキップを手に入れました。

この四国大会の様子はNHK総合で11月13日(日)13:00から放送されますので、ぜひご覧ください。

最後に、応援して下さった卒業生や保護者ならびに関係の皆様にご礼申し上げますとともに、全国大会でも引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。





### 1.1.9 第13回発明コンテスト表彰式を実施しました

令和4年10月24日（月）に高松キャンパスにおいて、第13回発明コンテスト表彰式を実施しました。発明コンテストは、技術者としての道を歩む柔軟な思考を持つ学生が、知的財産活動により得られた新規アイデアの権利主張を行う経験を通じて自ら学ぶことを目的として、毎年開催しています。

今年度は10件の応募があり、書面による審査が行われ、厳正な審査の結果、4件8名が受賞となりました。

表彰式では、最優秀賞（全国パテントコンテスト推薦賞）、優秀賞（香川高等専門学校産業技術振興会長賞）、アイデア賞（地域イノベーションセンター長賞）、奨励賞の各賞について、田中校長より表彰状および記念品が授与されました。



## 1.1.10 第1回ピア・サポーター育成研修を開催しました

令和4年10月27日、株式会社ONDOの谷益美先生を講師にお招きし、高松キャンパスで第1回香川高専ピア・サポーター育成研修を開催しました。

ピア・サポートとは、ピア（peer＝友達、仲間、同輩）を支援することを意味します。親や教員が入り込むことのできない悩み・問題の解決のため、友達同士で助けあうサポートスキルを学生が身につけ、学校生活を充実することを目的としています。

学生は主にコミュニケーションスキルを、グループワークを中心に、楽しく、論理的に学ぶことができます。

参加した学生からは、「知らない人でももっと気軽に話しかけてみようかなと感じられた。」、「去年の経験もあり少しずつコミュニケーションできるようになっていると感じている。」（昨年度からの受講生より）等の感想がありました。

この研修は10月～2月まで、月1回開催します。毎月募集しますので、興味を持った学生さんはぜひ参加してみてください。

## 令和4年度第1回ピア・サポーター育成研修を実施しました



1.1.11 7th STI-Gigaku 2022において専攻科生がBest Research Presentation Awardを受賞しました  
 国際会議「The 7th International Conference on “Science of Technology Innovation” 2022」  
 (7th STI-Gigaku 2022)が11月18日(金) -19日(土)に開催され、電子情報通信工学専攻2年の長川  
 歩君が日頃の研究成果を「Development of Semitransparent Organic Position  
 Sensitive Detector」と題して発表し、「Best Research Presentation Award by Sumitomo Riko  
 Company Limited」を受賞しました。

12月8日(木)、詫間キャンパス校長室において、本校校長から賞状及び記念品が授与されました。



1.1.12 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2022 全国大会で特別賞を受賞しました  
 「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2022全国大会」が11月27日(日)に両国国  
 技館館で開催されました。

全国から地区大会を勝ち抜いた25チームのロボットが集まり、熱戦を繰り広げました。

詫間キャンパス「prize (プライズ)」は第3試合に奈良高専と対戦し、44得点を挙げましたが、奈  
 良高専にVゴールを決められて、惜しくも敗退しました。優勝したのは奈良高専、ロボコン大賞は徳山  
 高専が受賞しました。詫間キャンパスは初戦敗退でしたが、優勝校と戦った、その健闘ぶりが高く評  
 価されて特別賞(田中貴金属グループ)を受賞しました。

応援して頂いたメンバー保護者、卒業生、応援団の皆さんに、深く感謝を申し上げます。



### 1.1.13 SEMICON Japan 2022・The高専@SEMICONに参加し、プレゼンテーションコンテストで2位を獲得しました。

2022年12月14日(水)～17日(金) 東京ビッグサイトで行われたSEMICON Japan 2022・The高専@SEMICONに参加しました。

シーズ展示では「NanShon 健康状態見守りシステム」「こんどる? 混雑情報受信システム」を紹介しました。興味を持っている方から質問を受け専攻科生と4年生が答えました。

The高専@SEMICONではプレゼンテーションコンテストが行われ、最終日(12月17日(金)開場前)に発表があり2位を獲得し、副賞も頂きました。



プレゼンテーションコンテスト表彰式

## 1.2 教育・研究活動

### 1.2.1 創造実験・実習で電子システム工学科の「ロボットコンテスト決勝トーナメント」を行いました

詫間キャンパスでは1年生に工学導入教育として「創造実験実習」が週4時間導入されています。全学科所属の学生が、それぞれ学科の特徴を取り入れた創造実験・実習テーマを1年間でローテーションします。

電子システム工学科で取り組んでいるレゴマインドストームを使用した創造実験では、各自が製作したロボットを使用したロボットコンテストを開催しています。先日予選が行われ決勝トーナメントに参加する8名が決まりました。

決勝トーナメントは対戦型で時間(2分)、ルールも変わり予選の順位と大きく入れ替わりました。対戦型のため相手の動きを見ながら作戦を立て相手が取った点数を上から自分の紙コップをかぶせて自分の得点にするなど極限状態での判断により勝敗が決まります。

決勝戦では延長戦になり、延長戦1回目は同時に得点、さらに延長し勝敗が決まりました。手に汗握る試合の連続でした。



## 1.2.2 令和4年度 香川高等専門学校FD・SD研修会を開催しました

9月8日（木）に高松キャンパス多目的室Aと詫間キャンパス第二講義室にて「令和4年度香川高等専門学校FD・SD研修会」を開催しました。

研修会には約140名の教職員が参加し、はじめに、愛媛大学教育・学生支援機構学生支援センター教授の野本ひさ氏を講師に迎え、「現代学生の理解と関わり方」というテーマで、学生支援に関する研修を実施しました。野本講師からは、ご自身の経験を交えながら、多様化する学生像を踏まえた学生支援について、データを元に解説いただきました。また、近年のトピックである合理的配慮と障がい学生支援についても、愛媛大学での取り組み経験を踏まえてご講義いただきました。

次に、有限責任監査法人トーマツの須田正人氏を講師に迎え、「公的研究費の不正使用防止に関するコンプライアンス研修」を実施しました。

須田講師からは、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」のポイントなど、公的研究費の執行にあたり教職員が遵守しなければならない事項等について説明があり、本研修終了後には、理解度を測るテストを行いました。

研修後の質疑応答では、参加した教職員から積極的に質問があり、非常に有意義な研修となりました。



**田中校長より開会の挨拶**



**研修風景**



**愛媛大学学生支援センター野本講師  
による学生支援に関する研修**



**有限責任監査法人トーマツ須田講師  
によるコンプライアンス研修**

### 1.2.3 「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されました

本校の教育プログラム「データサイエンス・AI 教育プログラム」が、文部科学省による「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。

同認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AI への関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AI を適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成するため、数理・データサイエンス・AI に関する知識及び技術について体系的な教育を行う教育プログラムを文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。これにより数理・データサイエンス・AI に関する基礎的な能力の向上及びその機会の拡大を図ることを目的としています。

本校では、当プログラムを全学科共通の1～3年生までの必修科目で構成しており、3年修了時には数理・データサイエンス・AI に関する知識及び技術について体系的な教育を受けることができるプログラムとなっています。

詳細は下記よりご覧ください。

[https://www.kagawa-nct.ac.jp/school\\_affairs/suuri\\_datascience\\_ai/suuri\\_hyousi.pdf](https://www.kagawa-nct.ac.jp/school_affairs/suuri_datascience_ai/suuri_hyousi.pdf)



#### 1.2.4 技術士会による出前講座を実施しました

3年生を対象として、香川県技術士会（プラスワン）による出前授業を開講し、学科ごとに10名程度の技術士の方にお越しいただきました。はじめに、15分間の全体講義の後、少人数グループに分かれ、約30分間ずつ2名または4名の技術士の方とディスカッションを行いました。本校を卒業した技術士や職場に本校OG/OBが在籍しておられる所も多く、職場紹介やキャリア形成の一環として、職業選びのヒント・心構え、学生の個人的な悩み相談までも含めた幅広いアドバイスをいただきました。今後の学校生活において大いに役立つものとなりました。

##### 【実施日】

10月21日（金） 機械工学科

10月28日（金） 電気情報工学科

11月11日（金） 機械電子工学科

11月18日（木） 建設環境工学科



全体講義とグループディスカッションの様子

### 1.2.5 本校研究室の研究成果が美幌博物館で活用されました

令和4年10月22日に、美幌町（北海道）にて、高橋研究室（高橋直己准教授，建設環境工学科）の研究成果を活用した体験講座「ポータブル魚道を使ってみよう」が開催され、高橋准教授が講師として参加しました。この講座は美幌博物館の年間行事のひとつとして実施され、参加者は高橋研究室が開発した持ち運び可能な魚道\*をサケの移動障害地点に設置し、サケが遡上する様子を観察しました。この活動の様子は、10月24日の北海道新聞に掲載され、11月29日には活動紹介動画（道東テレビ制作）の配信が開始されました。

本講座に先立ち、7月2日から10月5日の期間に、高橋研究室の研究成果が美幌博物館で展示されました。高橋研究室と美幌博物館は、今後も共同で水生動物の生息環境保全に取り組みます。

YouTube：[美幌博物館] ポータブル魚道を使ってみよう

<https://youtu.be/x9gW6Dtth88>

YouTube：サケ・マス類が利用可能なポータブル魚道2022

<https://youtu.be/eTpvtQot3Bk>

\*魚道・・・ダムや堰堤などの落差構造物に設置される水生動物の通り道



高橋研究室が開発した可搬魚道システム



YouTube : [美幌博物館] ポータブル魚道を使ってみよう  
<https://youtu.be/x9gW6Dtth88>



YouTube : サケ・マス類が利用可能なポータブル魚道  
<https://youtu.be/eTpvtQot3Bk>

魚道を利用して遡上するサケ



サケの遡上を観察する参加者



美幌博物館



美幌博物館に展示された高橋研究室の研究成果

### 1.2.6 詫間キャンパスで「全国一斉模擬テスト」受検会を開催しました

詫間キャンパスにおいて、令和4年12月8日（木）に、2024年新卒となる詫間キャンパス4年生の就職希望者を対象に、適性検査対策のための全国一斉模擬テスト受検会を実施しました。

通信ネットワーク工学科、電子システム工学科、情報工学科の希望学生75名が参加しました。この模擬テストは、就職選考で課せられるケースの多い適性検査対策のため、例年、大手就活サイトを利用して実施しているものです。

普段の勉強とは異なる設問が多数あるため、参加した学生からは「わからない問いがあった」「解き方を思い出せない」などの意見がありました。学生たちにとって、適性検査の対策を十分とるための、大変有意義な受検会となりました。



受検の様子(2会場で実施)

## 1.2.7 令和4年度教育実践事例報告会を開催しました

12月5日（月）、令和4年度教育実践事例報告会を開催しました。

今年度も昨年度と同様に、Microsoft365のTeamsと講義室の双方で報告を行う形での実施となりました。

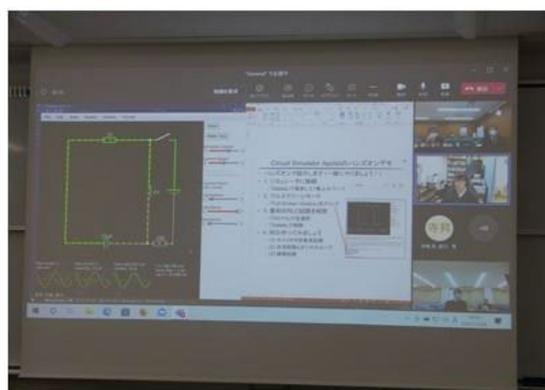
この報告会は、香川高専の教員が学生の意欲を増進させる教育実践に関わる事例・工夫などFDに寄与する事項の報告の場として、毎年実施しています。

今年度は、両キャンパスから3名の教員が各種取り組み及び特色ある教育に関する実践について報告を行い、97名の教職員がTeamsでリモート参加しました。

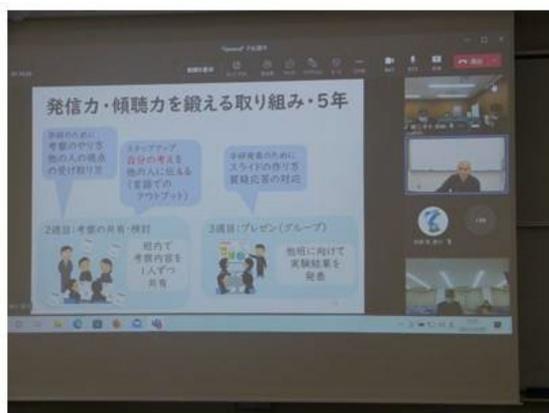
参加した教員からは、報告事例に対して活発な質問が出るなど有意義な報告会となりました。



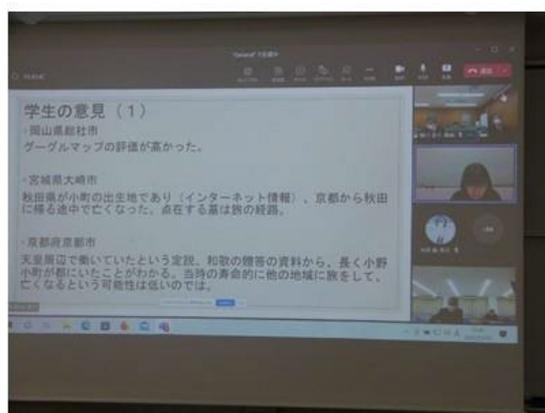
校長先生 挨拶



電気情報工学科 北村教員



技術教育支援室 大賀専門職員



一般教育科 森あかね教員

### 1.2.8 KOSEN-3衛星がJAXAの革新的衛星技術実証5号機の実証テーマに決定しました

香川高専 電気情報工学科 村上幸一 准教授が代表者となり、8 高専、2大学（提案代表校：香川高専、共同実施：明石高専、米子高専、高知高専、群馬高専、新居浜高専、徳山高専、都立産技高専、愛知工科大、九州工業大）で提案する超小型衛星（以下、KOSEN-3衛星）が、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の革新的衛星技術実証5号機の実証テーマの一つに決定しました。

本件は、2022年9月に「革新的衛星技術実証4号機」の実証テーマとして選定されましたが、号機を変更し5号機での実証となりました。

この超小型衛星（キューブサット）は、高専が連携して開発・打ち上げる超小型衛星としては3号機となり、高専連携衛星3号機（KOSEN-3）と呼んでいます。KOSEN-3では、衛星の軌道寿命の長期化のための3つの宇宙実証を行います。また、KOSEN-1衛星、KOSEN-2衛星の開発ノウハウを継承した上で、さらに本開発を通じて、宇宙開発の総合的な視点に立てる人材輩出を目指します。

打ち上げ予定の超小型衛星のテーマ名と内容等は、下記の通りです。

高専連携技術実証衛星「KOSEN-3」

テーマ名：「軌道維持用推進システムを搭載した次世代CubeSatの技術実証」

軌道上での実証内容と人材育成

1. PPT(Pulsed Plasma Thruster)推進システム による軌道寿命の長期化の技術実証
2. 多機能で高性能化が可能な入手性の良い市販マイコンを高度に組み合わせたOBCの技術実証
3. 高密度な次世代CubeSatに不可欠となる新規規格の光無線バスの実証
4. KOSEN-1/2に続くノウハウを継承した衛星運用とミッション達成を多くの高専学生が参画して行う新しい体制による取り組みを実施

実施体制

実施責任者：香川高専・電気情報工学科 村上 幸一 准教授

副実施責任者：明石高専・電気情報工学科 梶村 好宏 教授

共同実施者：米子高専・電子制御工学科 徳光 政弘 准教授

高知高専・ソーシャルデザイン工学科 今井 一雅 客員教授・名誉教授

群馬高専・機械工学科 平社 信人 教授

新居浜高専・電気情報工学科 若林 誠准教授

新居浜高専・電気情報工学科 今井 雅文 助教

徳山高専・機械電気工学科 池田 光優 教授

徳山高専・機械電気工学科 片山 光亮 准教授

都立産技高専・ものづくり工学科 高田 拓 准教授

愛知工科大・電子ロボット工学科 西尾 正則 教授

愛知工科大・電子ロボット工学科 中谷 淳 准教授

九州工業大学・宇宙システム工学研究系 北村 健太郎 教授

関連するこれまでの取り組み

文部科学省・宇宙航空人材育成プログラム

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kaihatu/space/jigyuu/detail/1347482.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/space/jigyuu/detail/1347482.htm)

1. 高知高専・徳山高専を中心とした8高専による文部科学省・平成26年度実践的若手宇宙人材育成プログラム「国立高専超小型衛星実現に向けての全国高専連携宇宙人材育成事業」（代表者：高知

高専・今井一雅)

2. 徳山高専・高知高専を中心とした10高専による文部科学省・平成29年度宇宙航空人材育成プログラム「超小型衛星開発を通じた高専ネットワーク型宇宙人材育成」

(代表者：徳山高専・北村健太郎)

3. 新居浜高専を中心とした6高専による文部科学省・令和2年度宇宙航空科学技術推進委託費・宇宙人材育成プログラム「継続的な超小型衛星開発・運用を通じた次世代の高専型宇宙人材育成」

(代表者：新居浜高専・若林誠)

4. 革新的衛星技術実証2号機

テーマ名「2Uキューブサットによる超高精度姿勢制御・超小型LinuxマイコンボードによるOBC・木星電波アンテナ展開技術の実証」

(高知工業高等専門学校、群馬工業高等専門学校、代表者：高知高専・今井一雅)

5. 革新的衛星技術実証3号機、4号機

テーマ名「超高精度姿勢制御による指向性アンテナを搭載した海洋観測データ収集衛星の技術実証・持続可能な宇宙工学技術者育成とネットワーク型衛星開発スキームの実証」

(代表者：米子高専・徳光政弘)

本件に関連するJAXAによる公開情報

・ JAXAホームページ：「革新的衛星技術実証4号機のテーマ公募」追加選定結果について

[https://www.jaxa.jp/press/2023/02/20230208-1\\_j.html](https://www.jaxa.jp/press/2023/02/20230208-1_j.html)

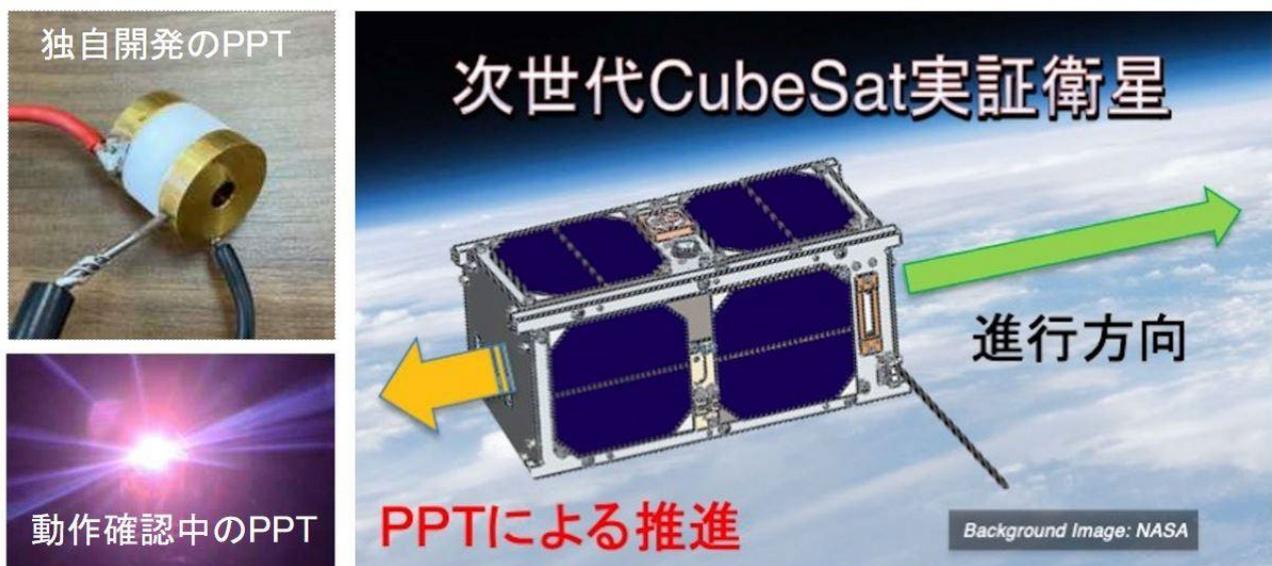
・ JAXA革新的衛星技術実証5号機に搭載する実証テーマ

<https://www.kenkai.jaxa.jp/research/innovative/theme05.html>

・ JAXA革新的衛星技術実証プログラム <https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/index.html>

・ JAXA革新的衛星技術実証プログラム Twitter公式アカウント

[https://twitter.com/KAKUSHIN\\_JAXA](https://twitter.com/KAKUSHIN_JAXA)



独自開発の超小型ローコストPPT(Pulsed Plasma Thruster)推進システムにより軌道寿命の長期化を可能とする次世代CubeSat実証衛星

## 次世代CubeSat実証衛星開発スキーム



- 革新的なPPT推進、次世代OBC、光無線バスの軌道上実証を行い、衛星機器市場の優位性を確立
- 開発マネジメント・官辺手続きを含めた宇宙開発の総合的な視点に立つことができる人材輩出に貢献



全国の高専チームがソフト開発と運用に参画できる新しい取り組みを実施

### 1.2.9 「JNSA設立20+3周年イベント」において専攻科生がJNSA学生賞を受賞しました

NPO日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）設立20+3周年イベント」講演会が2月2日（木）に開催され、電子情報通信工学専攻1年の西川優一郎君が「JNSA学生賞」を受賞しました。

西川優一郎君は、第26回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム併設の第17回情報危機管理コンテストに詫間情報安全管理局Bチームのメンバーとして参加し、チームは高専・大学13校の学生・大学院生20チームが参加する中、5チームで決勝戦を争い、その結果アグレッシブ賞を受賞するとともに、個人2名のみにも与えられるJPCERT/CC賞を受賞しました。また、詫間情報安全管理局Bチームは詫間情報安全管理局Aチームとともに、学内の研究会や大会等において後輩の指導に尽力するとともに、他のコンテストにも積極的に参加にしていることが評価されました。



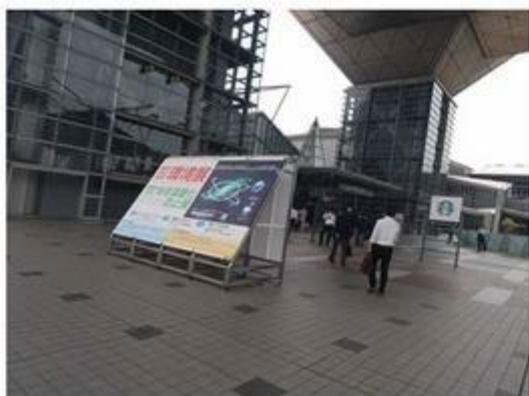
### 1.3 産学連携・地域連携

#### 1.3.1 2022NEW環境展に出展しました

令和4年5月25日（水）～27日（金）の3日間、東京ビッグサイトで開催された2022NEW環境展に香川高専から2件出展しました。高松キャンパス一般教育科・岡野教授と建設環境工学科・向谷教授が出展を行い、連日多くの方に来場していただきました。

5月25日（水）には国立高等専門学校機構の谷口功理事長も視察に来られ、興味深く見学していただきました。

本出展は、香川高専の研究成果を産業界へアピールする良い機会となり、今後、産学連携の一層の充実につながるものと期待されます。



展示場入口付近



岡野教授の展示ブース



国立高専機構の連合ブース(向谷教授展示)



### 1.3.2 三豊市青少年少女発明クラブ「簡単ロボット教室」を開催しました

5月14日(土)・21日(土)、詫間キャンパスにて三豊市青少年少女発明クラブ「簡単ロボット教室・初心者ロボット教室」を開催しました。

今回は、レゴスパイボットという赤外線コントローラを使ったラジコンに、レゴのタイヤやブロックを組み合わせてオリジナルのロボットカーを作りました。この活動は“自分で考え・作って・楽しむ”ことを目的としています。

赤外線コントローラは3チャンネルしかないこと、部屋の広さに限りがあるため、同じチャンネルを使っている友達のコントローラからの赤外線が自分のマシーンに入って反応し、勝手に動くというアクシデントがどうしても起こってしまいます。しかし、それもまたクラブ員達は面白い様子で、「どうしてこうなるのかな」と疑問に思い、考え学んでいました。

詫間キャンパスでは、今後も地域の子ども達に理科学体験を楽しんでもらえるように、学生と教職員が協力して活動を行っています。



全員で自分で作った自慢のロボットと記念撮影



友達と一緒に試行錯誤しながら作っています



カプラも楽しみました

## 1.3.3 観音寺市子育て支援センター ほっとはうす萩 イベント 「おばけ屋敷」 への技術協力

観音寺市子育て支援センターから依頼を受け、大野原町の“ほっとはうす萩”で8月2日(火)～11日(木)(※注8月8日(月)は休館日)に開催される「おばけ屋敷」の技術支援を行いました。

電子システム工学科 4年と専攻科の学生及び、技術教育支援室が協力し、自動で可動するお化け装置の製作・設置を行いました。

これまでに製作したお化け装置に加え、今年度は新たに“きょうふの首”を製作しました。

人体検知後に人形の首が自動上下しながら、効果音や照明で怖さを演出します。「お化け屋敷」は準備段階から、保護者や子供たちに興味を持ってもらい、開催初日から、親子ともに楽しんでもらえました。

今後も、学生と技術教育支援室が協力して地域のイベントや地域課題解決への技術支援を行い、学生のものづくりへのスキル向上や地域連携を推進して行きたいと思います。



おばけ屋敷の様子



きょうふのやかた



きょうふの口



きょうふの首

## 1.3.4 香川高専産業技術振興会シーズ発表会を開催しました

香川高専産業技術振興会会員企業との共同研究等の活性化を目的とした本校教員によるシーズ発表会を、9月13日（火）に高松国際ホテルで開催しました。

教員6名による共同研究実施事例とシーズ発表を行いました。ポスターセッションでは会員企業より積極的な問い合わせもあり、大変有意義な発表会となりました。

学科名 職名・氏名	題目
電気情報工学科 准教授 村上 幸一	IoT技術を利用したEV充電の遠隔制御と電力分配の最適化手法
通信ネットワーク工学科 准教授 小野 安季良	28GHzメタサーフェス反射器の設計
機械電子工学科 准教授 石井 耕平	位置決め精度の高い全方向移動ロボットの開発
建設環境工学科 教授 向谷 光彦	交差点歩道部の安全性を向上させるボラードの構造的改善に関する研究開発
建設環境工学科 准教授 柳川 良一	無線式モニタリングシステム（Water Minder）の実証試験
電子システム工学科 教授 三崎 幸典	ビジネスゲームアプリの開発



### 1.3.5 公開講座「第20回スイム記録会&スタート練習会in三豊」を開催しました

令和4年9月11日（日）、詫間キャンパスにおいて、公開講座「第20回スイム記録会&スタート練習会 in 三豊」を開催しました。

本講座では、小学生3名の方が参加し、ストレッチ、フォームチェック、飛び込みなどのスタート練習を行った後、各々が希望した種目のタイム計測を行いました。

参加者からは、この講座を受講して「飛び込みが久しぶりだったので、わかりやすく教えてくれてよかった」や、「自分のタイムがわかって良かった」といった感想が寄せられ、参加者にとって有意義な講座となりました。



### 1.3.6 「AIサマースクール」を開催しました

9月7日・8日・9日・14日・15日・16日の6日間（全40時間）、MAiZM（マイズム）・三豊市・東京大学松尾研の協力で香川高専詫間キャンパスを主会場に「AIサマースクール」を開催しました。

AIサマースクールは、平成30年度の開講から今年で5回目となり、AIやデータサイエンスに関する技術について正しく理解するとともに、実際のプログラミング演習を通して深層学習モデルを実装できる能力を集中的に習得することを目的としています。

講義は東京大学大学院工学系研究科松尾研究室で深層学習を専門として研究している講師が行いました。今年度の講義は、香川高専詫間キャンパスで対面実施し、全国高専からも受講できるよう対面講義を遠隔配信する、ハイブリッド形式で行いました。

1日目は、開催に先立ち本校田中校長から挨拶があり、その後6日間を通して松尾研究室所属と講師が、AIやデータサイエンスに関する講義及び演習を実施しました。

4日目(9月14日)には、東京大学大学院教授松尾豊先生による講演があり、最新のAI技術や開発動向について理解を深めることができました。

最終日となる6日目は、大学の授業や研究の様子、編入学について質疑応答を交えながらの交流もありました。

6日間、30時間という限られた時間ではありましたが、全国の高専学生および地域の技術者・研究者のAI技術教育と、今後のAI人材育成へ結びつく有意義な講義となりました。今年度は3年ぶりに講師が詫間キャンパスに来校し対面で講義を行うことができました。受講して頂いた約130名のみなさま、松尾研究室並びにMAiZM（マイズム）・三豊市、その他関係者の方々、ご協力頂きありがとうございました。



香川高専田中校長 開講の挨拶



講義(詫間キャンパス)の様子



東京大学大学院教授 松尾 豊先生の講演(9月14日)



講義(詫間キャンパス)の様子



Zoomによる遠隔講座

## 1.3.7 みとよ青少年発明クラブ「青少年チャレンジ創造コンテスト」競技会を開催しました

8月27日（土）誌間キャンパスにおいてみとよ青少年発明クラブ主催「青少年チャレンジ創造コンテスト」競技会を開催しました。

今年のテーマは対面開催された最後の年と同じ「からくりパフォーマンスカー」です。自分たちがPRしたい事柄の紹介を行う山車と、山車をけん引する動力車を製作します。リモコン操作しながら設定コースを走行し、時間内にゴールさせる競技です。途中のパフォーマンスも見せどころです。

走行性、からくり機構の工夫、パフォーマンスの表現、プレゼンテーションの内容などを競い、審査員により採点が行われました。大勢の人が見守る中、緊張しながらも丁寧に走行することができ、どのチームも工夫たっぷりの作品を披露することができました。

競技結果は下記のとおりです。

☆優勝 組橋慎太郎

☆準優勝 松本和将

☆発明キッズ賞 渡辺美香

☆努力賞 江川昊香

コロナ感染拡大防止のため、「青少年チャレンジ創造コンテスト」地区予選大会・全国大会が行われなかったため、みとよ青少年発明クラブが主催し「青少年チャレンジ創造コンテスト」競技会を行いました。



車検：競技前に既定内の大きさが測定します

### みとよ青少年発明クラブ「青少年チャレンジ創造コンテスト」競技会

競技会：緊張しながらも走行することができました



### 1.3.8 STEAM教育活動を実施しました

令和4年10月10日（月）に当校にて、STEAM教育の“A”を構成するアートに関する教育活動を実施しました。地元の劇団；パフォーマンスカンパニー・リトルウィングから山本育代先生ら10人にお越しいただきました。当校からは専攻科生1名と建設環境工学科5年生1名が参加しました。

内容は、11月3日（祝・木）に高松市こども未来館でのアートイベントに向けての打ち合わせと全体練習や演技指導です。初めてのアートイベントに向けてのキックオフミーティングとなり、有意義な時間を過ごすことができました。



## パフォーマンスの練習状況

### 1.3.9 イノベティブ・キャリア支援講座を実施しました

令和4年11月1日（火）に本校専攻科の情報システム履修学生9名を対象としたイノベティブ・キャリア支援講座を実施しました。講師はキャリアコンサルタントの資格を有する筑後 美佳 氏です。withコロナにおいて進路活動についてはオンラインと対面のハイブリット化が想定されます。

また企業で求められるイノベーションや社会人基礎力の涵養が重要です。そのため、これらに備えた対処法やワークショップを通じてキャリア形成の概念を学生に分かりやすく説明していただきました。

学生達にとって今後の進路活動、研究に活かすことができる有意義な講座となりました。



## 講座の様子

### 1.3.10 高松市こども未来館にてSTEAM教育活動等を実施しました

令和4年11月3日（木・祝日）に高松市こども未来館にて、STEAM教育の“A”を構成するアートに関する教育活動を実施しました。地元の劇団：パフォーマンスカンパニー・リトルウィングによる演劇等と当校のダンス愛好会によるパフォーマンスを行いました。その後は、土木のモノづくりコーナーで小中学生たちと交流しました。参加者は観劇が74名、モノづくりが139名でした。

当校からは専攻科生1名、建設環境工学科5年生4名、4年生4名、3年生1名、2年生1名、1年生3名の学生が参加しました。こども未来館とのイベントが今回で101回目を迎え、初めてのアートイベントを見学、実施することができ、有意義な時間を過ごすことができました。



## イベントの実施状況

### 1.3.11 橋梁点検に関する講習会を開催しました

11月19日（日）～20日（日）の2日間にわたり、社会基盤メンテナンス教育センター（iMec 香川）で橋梁点検に関する講習会「e+iMec講習会 橋梁点検【基礎編】」を開催しました。今年度第4回目の開催であり、橋梁メンテナンスに携わる自治体や民間企業の技術者11名に受講していただきました。

この講習会は橋梁メンテナンスに関する事前のeラーニングや対面での座学、損傷調査・非破壊検査の実技、実橋や実物劣化部材を用いた体験型学修を組み合わせた実践的な内容で構成されているのが特徴です。

受講者の皆さんからは「説明や実際に現地で実物を見て、理解を深めることができた」「橋梁の管理者、点検業務を行う技術者双方の意見を聞くことができ参考になった」「来年度は応用編も開催してほしい」などの感想をいただきました。

来年度も橋梁点検技術者育成のための講習会を開催する予定です。皆様のご参加お待ちしております。



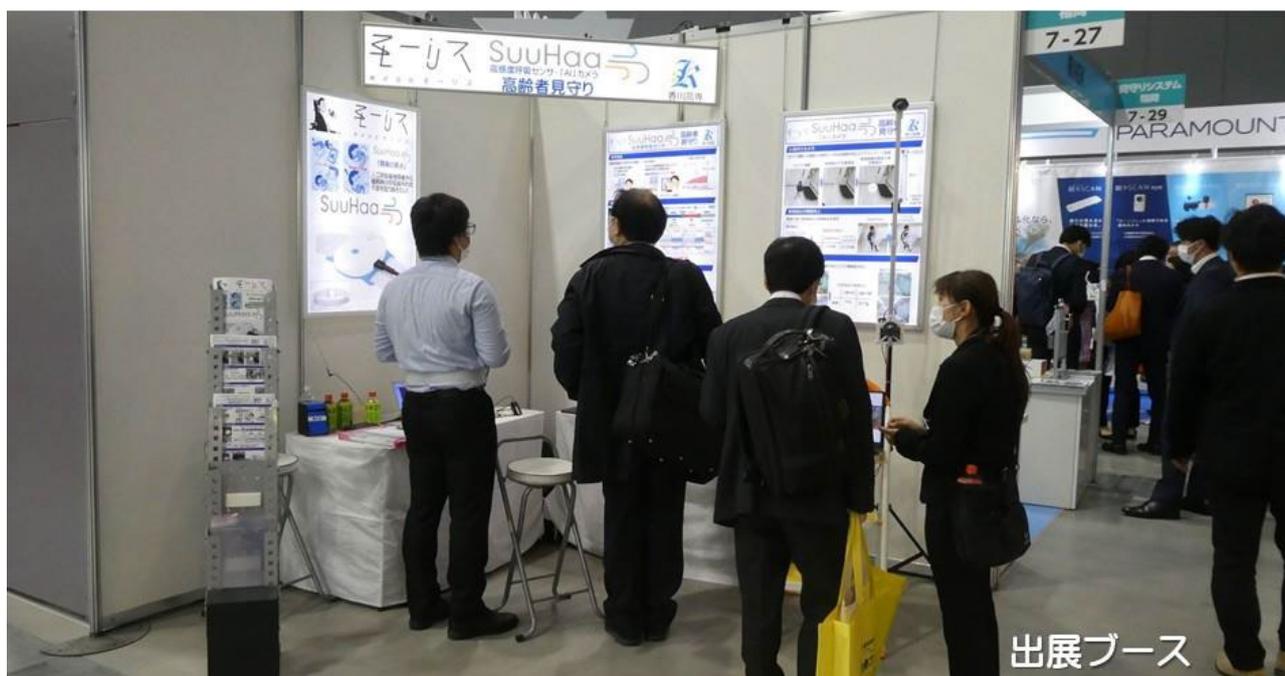
橋梁点検【基礎編】記念撮影

### 1.3.12 第5回 CareTEX福岡'22に参加しました

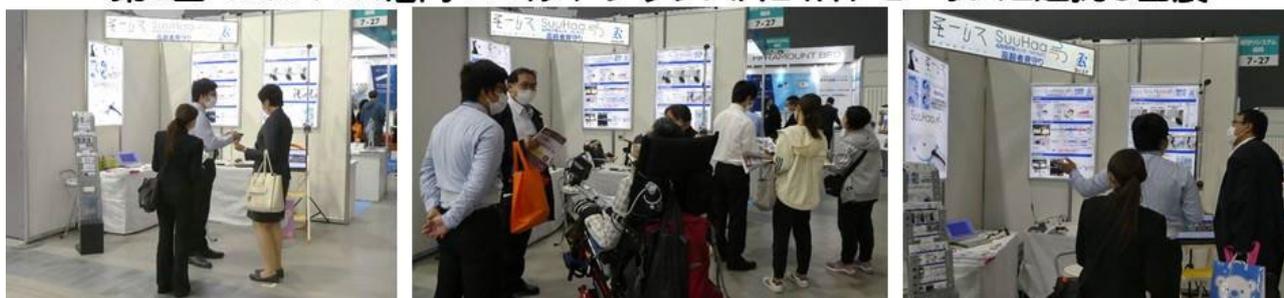
2022年11月1日(火)～11月2日(水)に福岡県福岡市マリメッセ福岡B館で行われた第5回CareTEX福岡'22(ケアテックス)に(株)モーリスと連携し出展しました。

高感度呼吸センサ(SuuHaa)による高齢者見守り技術、WebカメラとAIを使用した高齢者の位置・状態計測システムの展示を行いました。

本技術は(株)モーリスと連携して実用化(商品化)を目指しており、高齢者施設の管理者や高齢者見守り用のセンサに興味を持っている企業の方々と有意義な情報交換ができました。



第5回 CareTEX福岡'22(ケアテックス)に(株)モーリスと連携し出展



## 1.4 国際交流

### 1.4.1 トゥール市からの親善研修生との交流を行いました

令和4年11月8日（火）に高松キャンパスにおいて、高松市が姉妹都市提携を締結しているフランスのトゥール市から招聘した親善研修生2名を受け入れ、授業や実験、卒業研究などを見学、体験する交流を行いました。

親善研修生のオセアンヌさん、コラリーさんは、機械工作実習の見学や3D-CADの体験、ロボットの操縦など、高専の特徴ある授業に触れ、また本校学生とお互いの都市の名産品の話やアニメなどの興味ある話で盛り上がり、有意義な交流の時間を過ごすことができました。本校はトゥール大学とも学术交流協定を締結して学生の派遣や受け入れの交流をこれまで行っております。現在はコロナ禍で休止しておりますが、再開も見込まれており今後の学生の国際交流活動への活発な参加が期待される、有意義な交流となりました。



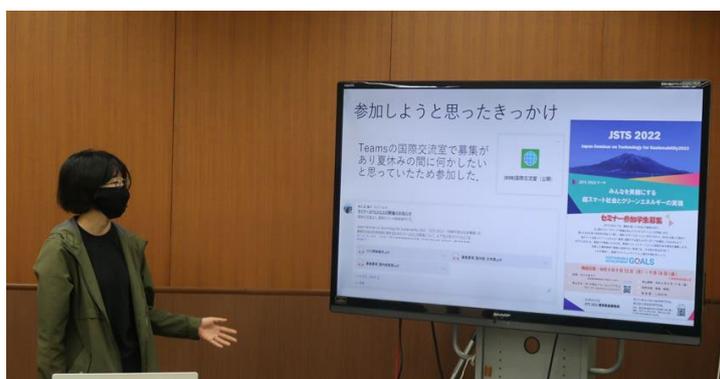
交流の様子

### 1.4.2 令和4年度学生による国際交流活動報告会を実施しました

令和4年11月14日（月）に令和4年度学生による国際交流活動報告会を開催しました。

報告会は同時配信され、夏休みに鹿児島で開催された国際セミナーJSTS2022（Japan Seminar On Technology for Sustainability 2022, 持続可能な社会構築への貢献のための科学技術に関する日本セミナー2022）に参加した学生より、参加しようと思ったきっかけや参加後の自らの気づきや成長、今後参加する学生へのメッセージなどについて発表してもらいました。会場の聴講者から発表者への質問も多く出て盛り上がり、今後の学生の国際交流活動行事への活発な参加が期待される、有意義な報告会となりました。

なお、報告会の様子は録画配信にて、当日参加出来なかった学生にも視聴できるようにしております。



報告会の様子

### 1.4.3 トビタテ！留学JAPAN経験者による留学相談会を開催しました

令和4年11月21日（月）に本校専攻科修了生で在学中にトビタテ！留学JAPANに選出され、1年間コスタリカに海外留学を行った三宅元生氏（水ingエンジニアリング株式会社勤務）、本校を卒業し同制度で現在フィリピンに留学中の尾崎友亮氏（豊橋技術科学大学大学院生，オンライン参加）を講師にお招きして、トビタテ！留学JAPAN経験者による留学相談会を開催しました。

講師からはそれぞれ留学を考えることになったきっかけや、申請書類・面接等で重要となる留学の計画性やストーリー、熱意など経験者からのアドバイスをいただき、また学生からの質問に対して丁寧に回答していただきました。留学経験で得られた挑戦・行動する姿勢は、社会人になっての仕事に役立っていることをお話され、今後の学生の海外留学への積極的な挑戦が期待される、有意義なセミナーとなりました。

なお、セミナーの様子は録画配信にて、当日参加出来なかった学生にも視聴できるようにしております。



相談会の様子

## 1.4.4 令和4年度留学生交流会を開催しました

令和4年12月6日（火）高松キャンパス食堂において、留学生交流会を開催しました。本交流会は高松・詫間両キャンパスの留学生が、教職員やチューター、同級生、日ごろお世話になっている学外の個人および団体の皆様に感謝を表し、親交を深める場となっています。

毎年留学生の発表があり、本年度のテーマは“観光大使になって、母国を宣伝してください！”でした。各国の留学生は、観光地・文化・民族・食べ物などを紹介しながら、熱弁を振り、参加者からの質問も多く出て大変盛り上がりました。

なお、留学生の発表の様子は録画配信にて、当日参加出来なかった学生にも視聴できるようにしております。



留学生交流会 2022

## 1.4.5 台湾国立成功大学を訪問し交流を行いました

2022年12月13日から12月17日にかけて香川高専詫間キャンパスの学生4名および教員3名が台湾国立成功大学を訪問し交流を行いました。

成功大学と香川高専は2021年3月にAIやロボティクスを中心とする学術交流協定MOUを締結しており、2021年度から毎年後期にオンライン授業「Introduction to Image Recognition AI and Robotics Lab」を合同で開講しています。これまでは新型コロナウイルスの影響でオンラインでの交流に限られていたため、今回が協定締結後はじめての訪問となりました。

成功大学では、オフラインでの合同授業を実施するとともに、研究室やキャンパスの見学をさせていただきました。また成功大学内の教育研究組織であるSchool of Computingが主催した国際会議「Workshop on Future Computing 2022 (WFC2022)」にも参加しました。香川高専の学生は同世代の成功大学の学生とお互いの研究や趣味、文化などについて積極的に会話し、非常に良い刺激を受けたようでした。

香川高専ではAIやロボティクスというテクノロジーを共通言語に成功大学との交流を今後も継続したいと考えています。



成功大学のキャンパス入口にて



合同授業の様子



田中校長の挨拶



成功大学のシンボルツリー



研究室見学の様子



国際会議WFC2022の様子



成功大学と香川高専の学生

#### 1.4.6 留学生見学旅行で岡山城、岡山後樂園等を訪れました

例年、5月頃実施してきました留学生旅行を今年度は1月22日（日）に実施しました。高松Cからは6名、詫間Cからは3名の留学生と日本人学生、3名の教員が参加し、岡山城、岡山後樂園、三井アウトレットパーク倉敷の3箇所を見学しました。

外国人留学生たちは日本人学生や教員との交流を通して、日本の歴史や日本人の美的感覚をより深く理解するとともに、ショッピングをすることで気分のリフレッシュもできたのではないかと考えています。特に、岡山城では、日本刀や火縄銃を実際に持ってみたり、岡山市の発展と池田家のかかわりについて説明を聞いたりしていました。



岡山城と岡山後樂園

## 1.4.7 本校卒業生によるグローバルキャリア教育講演会を開催しました

令和5年1月23日（月）にトビタテ！留学JAPAN日本代表12期生として現在フィリピンDe La Salle Universityに留学中の尾崎友亮氏（本校卒業生，現豊橋技術科学大学大学院生）を講師にお招きして，グローバルキャリア教育講演会「15歳から24歳のグローバルキャリア」をオンラインにて開催しました。

尾崎氏は本校在学中の授業にて海外に関心を持ち，初めてタイに留学した10日間の体験では現地での調査や実験に取り組み，現場から得られる知識が新鮮で強く印象に残った経験より，更なる学修のため本校卒業後に豊橋技術科学大学のGACコースに進学されました。大学では留学生とのシェアハウスの生活を始め，2回目のフィリピンへの渡航で廃棄物や貧困問題に直面し，それらの解決を図るためトビタテ！留学JAPANに応募したところ，熱意と計画性が評価され選出されました。フィリピンからの講演では，新型コロナが留学に与えた影響，現在の活動状況や英語学習の状況などについて実体験から丁寧にお話していただき，さらにご自身のこれまでのグローバルキャリアと将来について紹介していただき，今後の学生の海外留学への積極的な挑戦が期待される，有意義な講演会となりました。

なお，セミナーの様子は録画配信にて，当日参加出来なかった学生にも視聴できるようにしております。

## 現在の活動状況（フィリピン）

8:00	起床
8:10～8:20	朝食
8:20～9:00	英語の勉強
9:00～9:20	シャワー
9:20～9:50	身支度
9:50～10:00	移動
10:00～	大学
10:00～12:00	実験・メールの確認
12:00～13:00	お昼ご飯
13:00～18:00	実験・文献調査
18:00～19:30	晩ご飯・休憩
19:30～20:00	実験データ整理
20:00～21:30	英語の勉強・メール
21:30～22:00	買い物
～22:00	帰宅
22:00～23:00	休憩
23:00～24:00	英語の勉強・日記
24:00～24:20	シャワー
24:20～25:00	ニュース
25:00～	睡眠

修士2年次



9/11



講演会の様子

## 1.5 その他

### 1.5.1 「高専制度60周年記念」特別講演会を開催しました

令和4年12月22（木）に、香川高等専門学校名誉教授の八尾 健氏を講師としてお招きし、特別講演会を開催しました。

講演会には、約90名の本校学生・教職員等が参加し、「電池の適材適所—電池イノベーションの指針として—」を演題にご講演いただきました。

講演では、電池発電の原理、反応の過酷さ、実用性の要件、歴史等電池について、イラストや具体的なデータを交えながら分かりやすく説明いただき、電池についての理解を深めることができました。

参加学生からは、「電池の適材適所について、電池の歴史を紹介しながら話をしていただき分かりやすかった」「とても興味深い話でした。19世紀の電池が今もメインで使われていることに、実用化のハードルの高さを感じました。」といった感想が寄せられ、参加者にとって大変有意義な講演会となりました。



校長先生挨拶



1.5.2 高専制度創設60周年記念三豊地域産業振興協議会講演会を開催しました

2022年11月10日(木)17:30～香川高専詫間キャンパス図書館センター多目的ホールAにおいて高専制度創設60周年記念三豊地域産業振興協議会講演会(学生聴講可)を開催しました。

講師は元ソニー・コンピューターエンターテインメント取締役副社長、現(株)A.L.I. Technologies取締役の三浦 和夫氏で三浦氏は詫間町出身で詫間電波高専 電波通信学科7期 卒業(OB)です。

講演会は新型コロナ対策としてZoomによる配信も行われ遠隔での参加者も多数いました。

講演会ではソニーでのウォークマンやプレイステーションの開発秘話やその時考えたこと、現在のベンチャー企業での活動内容など自身の技術者や管理職としての経験を話して頂き三豊地域産業振興協議会会員や参加学生は興味を持って聞くことが出来ました。

**三豊地域産業振興協議会 講演会** 学生聴講可

ますます楽しみな  
我が町三豊/詫間

**11月10日 木 17:30~18:45**

会場：図書館センター 多目的ホールA  
元ソニー・コンピューターエンターテインメント取締役副社長

**講師：三浦 和夫氏**  
元SONYプレステ開発・設計責任者  
詫間電波高専 電波通信学科7期 卒業(OB)

- 1982年：国立詫間電波工業高等専門学校卒業
- 1982年：ソニー株式会社入社 ウォークマン、CDウォークマンCDラジカセの開発設計
- 1995年：株式会社ソニー・コンピュータエンターテインメント  
(現：Sony Interactive Entertainment LLC)にてプレイステーションシリーズの開発及び開発責任者として従事。PS、PS one、PS2、PSP、PS3、PS Vita、PS4、naone等の商品開発：PS4、PS5等の開発、マネージメント
- 2009年：4月～2011年2月ソニー株式会社生産本部副本部長兼務
- 2012年：株式会社ソニー・コンピュータエンターテインメント  
(現：Sony Interactive Entertainment LLC) 取締役
- 2014年：同社取締役副社長
- 2017年：ソニー株式会社執行役員
- 2019年：A.L.I.社外取締役就任
- 2020年：同社エアーモビリティ本部担当取締役 Xturismo開発開始
- 2022年：(株) Dynabook非常勤取締役 現在に至る



**講師：三浦 和夫氏**  
詫間電波高専 電波通信学科7期 卒業(OB)  
元ソニー・コンピューターエンターテインメント取締役副社長



◆主催：三豊地域産業振興協議会 共催：香川高専詫間キャンパス



Zoomによる配信画面

**経歴・職歴**

- 1982年 国立新制専門学校に生まれる
- 1988年 専修小学校入学
- 1994年 専修中学校卒業、詫間中学校入学
- 1997年 詫間中学校卒業、詫間電波高専入学
- 1998年 詫間電波高専卒業、ソニー入社
- 1998年 ソニー・コンピューターエンターテインメント(現SIE)入社
- 2009年～2011年 ソニー生産本部副本部長兼務
- 2014年 SIE取締役
- 2017年 ソニー執行役員
- 2019年 ソニー SIE社外取締役
- 2019年～2020年 IT、エムエス(株)社外取締役
- 2019年 A.L.I. Technologies 取締役
- 2022年 Dynabook 取締役

### 1.5.3 三和電業グループ奨学基金奨学金授与式を行いました

令和4年12月22日（木）に三和電業グループ奨学基金奨学金授与式を行いました。

本基金は、本校OBである山地真人氏が代表取締役会長を務める三和電業グループからの寄附金が財源となっており、今回で5回目の授与となります。全学年を対象とし、経済的理由により修学が困難と認められる学生や、学術・文化・スポーツ・社会活動等で優れた業績を上げさらに高い目標に挑戦しようとする学生を選考しました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による影響等により家計が急変した学生や、家族に代わって家事や幼い兄弟姉妹の世話をしている学生なども対象とした幅広い支援が特徴となっています。授与式前には、山地氏と奨学生とで歓談の場が設けられ、OBとしての貴重な経験談と奨学生への激励のお言葉をいただきました。



三和電業グループ奨学基金奨学金授与式を行いました

#### 1.5.4 高専制度創設60周年記念事業「高専の森」植樹式及び高専への功労者感謝状贈呈式を実施しました

高専制度創設60周年記念事業「高専の森」の一環として、本校高松キャンパス第一体育館前及び詫間キャンパス管理棟前に記念植樹を行いました。今回植樹したのはユズリハで、花言葉は「世代交代」で代々続いていく縁起の良い木とされています。

令和5年2月16日（木）に高松キャンパスにおいて実施した植樹式には、国会議員の方々をはじめ産官学から来賓のご臨席を賜りました。鍬入れは、山下三豊市長、半山香川県中学校長会会長、谷口高専機構理事長、田中校長の4名で行われました。最後に独立行政法人国立高等専門学校機構谷口理事長よりお礼のご挨拶をいただきました。

また、植樹式の前には、感謝状贈呈式を実施しました。高専への功労者43社（名）の皆様のうち、当日ご臨席賜りました方々に、一般社団法人全国高等専門学校連合会会長からの感謝状を谷口高専機構理事長が贈呈されました。



記念植樹鍬入れの様子(高松キャンパス)



記念植樹(詫間キャンパス)



高専功労者への感謝状贈呈式

